

下関市豊北町で長門ゆずきちの出荷が始まります！

下関市豊北町でやまぐちブランド「長門ゆずきち」の出荷が始まります！

分類：新着ニュース, 農業

登録日：平成 28 年 8 月 24 日 | 下関農林事務所農業部

下関市豊北町の長門ユズキチ友の会(会長:安富伸一)では、22 戸の農家がやまぐちブランドの「長門ゆずきち」を栽培しており、8月 19 日から出荷が始まりました。

長門ゆずきちは、スダチやカボスの仲間の香酸カンキツで、ユズとスダチをブレンドしたようなさわやかな香りとまろやかな酸味が特徴です。

初出荷の日には、農家が丁寧に箱詰めした計 200 パック(約 40kg)の長門ゆずきちが集荷場に集まり、JA下関豊北町支所の職員が確認をしてから、宇部市の市場へと出荷されました。

釣井副会長は、「梅雨明け後雨が降らず、果実肥大が心配されたが、大きさは平年並みとなった。今年は昨年の約2倍の6トンの出荷を見込んでいる」と話していました。

宇部の市場の他、下関市内の道の駅や「いただきまーと」で販売しており、出荷は 10 月上旬頃まで続きます。

下関農林事務所では、やまぐちブランド「長門ゆずきち」の安定生産および果実品質向上に向けた取り組みを引き続き支援していきます。



パック詰めされた長門ゆずきち



長門ゆずきち集荷の様子

問合せ先

メール：a171071@pref.yamaguchi.lg.jp 電話：0837-66-1206